

平成 29 年 5 月 22 日

5 月の木材価格・需給動向

1. 国産材(北関東)

栃木の丸太生産は間伐作業が順調な中、八溝地域では皆伐による生産量が増加。荷動きは製品市場で鈍いものの直販ルートが順調で、大手工場を中心に積極的な丸太手当が続いている。スギは柱材の引合いが順調で、中目材は高齢級が好調。ヒノキは柱材、中目材とも堅調な引合い続く。丸太価格は全般に軟調だったが、順調な荷動きにより下げ止まり、ほぼ横這いで推移となっている。スギは柱材が保合、中目材は並材が多く出材され弱保合だが、良材は保合となった。ヒノキは柱材、中目材ともに横這いで推移。

群馬の製材工場は全体的に順調に操業し、製品は在庫の積み増し中の状況。原木入荷は少なくなっているが、集荷は間に合っており、原木在庫は通常より少なめ。製品販売は全体的に低調になってきた。製品市場からの注文は、首都圏中心に順調だが県内は少ない。地場工務店からの受注が増え始めた。製品在庫はヌキが依然少なくその他は通常通り。価格は全般的に低位安定状態。4mの角類が品薄から多少の値上がり。

2. 米材

輸出向け丸太の産地情勢は、QTR1 が記録的な多雨で米・加ともに出材に影響した。QTR2 に入っても依然雨の日は多いが出材は回復傾向。産地港頭在庫は、米国は出材が回復し積み増し中。カナダは米国に比べ悪天候による伐採の影響が大きく、依然国内在庫が低水準で、国内工場より輸出申請材に対するブロックが厳しい状態が続く。ウエアハウザー社の 5 月積み対日米マツ価格は、前月積比で据え置き。3 月の米材丸太の入荷量は 260 千 m^3 で前年同期比 6.8%減。出荷量は 266 千 m^3 で同 4.3%増。在庫量は前月比 6 千 m^3 増の 252 千 m^3 。日本国内の米材工場は前月同様の動き。カナダ製材品への 19.88%の相殺関税課税決定により米国製材工場は増産に向け原木買付意欲が高まり、産地価格は上昇中。

米製材品の TLT(東京木材埠頭)4 月の入荷量は 28 千 m^3 (前月比 0.5%増)、出荷量は 25 千 m^3 (同 4.4%減)。在庫量は 48 千 m^3 (同 7.8%増)。3 月の米国住宅着工は、年率換算 121.5 万戸で前年同月比 8.4%増。ランダムレングス紙発表 5/5 の 15 種木材価格平均は、\$ 429/M で 3 月末比 6.3%UP。米マツ QTR2 の価格は各シ

ッパー軒並みアップし、今後値下がりの雰囲気はない。4月は各社荷動きが悪く在庫増となったが、今後動きが出ると予測。

3. 南洋材

サバは天候不順で出材量は不安定。サラワク・PNGの出材が悪くサバに原木バイヤーが集まるものの、相場は引続き強含み。今後休日シーズンを控え明るい材料少なく製材品の数量も減少。サラワクは原木伐採規制強化の影響で相変わらず低水準、原木相場も課税強化を控え強含みのまま。PNGソロモンは雨多く出材は不安定、マレーシアの出材減で買方が集まり相場は強気を保っている。丸太の入・出荷横這い、在庫は減少、製材品の入荷は増加。丸太の販売は合板・製材用とも平年並み。製材品はインドネシアの原木出材が低調で、メルクシなどのフリー板は強気相場。デッキ材、平割類も当用買いは変わらず。

4. 北洋材

シベリア地域の伐採・搬出は終了。7月の川輸送材を待つ状態。輸入製品は中国、日本の購買意欲が依然高く、原料不足で価格は高止まり。丸太価格はエゾマツ・カラマツ\$160、アカマツ\$190で強保合続く。製材品は現地挽き上級グレードがルーブル高で強含み、国内挽きは値上げトライ中。アカマツ原板は\$380で保合。荷動きは現地挽き3.0cm×4.0cm上級グレードが需要停滞で値上げ難しい。国内完成品は良質グレード、胴縁・ヌキそれぞれ堅調。国内の北洋材製材工場は通常の稼働、特注品で採算維持、原材料調達は丸太が前年同月比減、原板は依然入荷少ない。上級材・特殊材の受注多いが対応難しい。

5. 合板

原料丸太のうち国産材の入荷は順調で、価格はカラマツ以外は横這い。ロシア材は需要旺盛で価格も強い。米材は1-3月の原木出材低調の影響で、日本向けは極めて少なく価格は上昇中。南洋材の出材は回復傾向だが価格は高値張り付きのまま継続。3月の国内合板総生産量27.7万m³のうち、針葉樹合板は26.5万m³で過去最高を記録。出荷量も25.5万m³と高水準で、先月に続き出荷量が生産量を下回る。在庫量は9.5万m³、うち構造用合板は8.4万m³で先月比約1万m³増えたが未だ低水準の域にある状況。国産針葉樹合板の5月販売価格は横這い。メーカーの打出し価格は、2月以降横這い継続の高値張り付きと言えるが、在庫減少のなか最低限の需要が確保できていること、GW期間で生産低下が予想されることからメーカーの強気気配は変わらない。

国産針葉樹合板の状況は地域によって格差が顕著だが、東日本における需要は落ち着いている。出荷量が増えたため受注残は解消され、流通在庫はほぼ満

杯状態。輸入合板は依然落ち着いたままで、価格も弱い状態が続く。3月から乱れた12mm系の価格もここにきて底値感が出てきており、買いに走る納入業者も出始めている状況。先行き国産針葉樹合板は、暫く活気のない展開が予想されるが、GW中の機械メンテナンスによる生産減と在庫の低水準の中、メーカーの強気姿勢は変わらない模様。輸入合板は暫く落ち着いた展開が予想されるが、現地での成約が減っているなかで徐々に品薄アイテムが出てくる可能性。

6. 構造用集成材

4・5月の入港は順調だが6月は減る見込み。QTR2ラミナ交渉は10€/m³程度アップ。6月入港減のためラミナ価格は上昇する見込み。製品価格はラミナ上昇により値上げの動き。RW梁桁は1,000~2,000円/m³、WW柱は不足感が一服したことから横這いだが、コンテナ不足、フレート高の影響で今後値上げの可能性。国産集成材の受注は引続き好調。販売・荷動きとも良いが、WW柱・間柱は一服感あり。販売先行きはメーカーの受注残が残っており5月までは好調。今後の輸入減少を踏まえ7月まで販売先行きは良い模様。輸入集成材はRW梁桁、WW柱とも430€/m³程度。サプライヤーによっては船積み遅れの回避を目的に成約を絞るケースあり。丸太不足と生産減少により供給は少なくなる見込み。米ヒバ、無垢の生産終了で、ヒノキ材の引合い強い。

7. 木材チップ

チップ原木の入荷状況は順調で、素材、解体材ともにおおむね例年並み。大手製紙メーカーの定期修理のため一部解体材に余剰感。消費は製紙用、燃料用とも減少。在庫は削減状況。針葉樹チップ価格は製紙用が横這い、FITは高値材敬遠の動きあり。輸入チップの発生量は順調、価格は為替レート変動に伴い先行き不透明。国内チップ工場の操業状況は例年並みだが、需要先の定期修理の関係で稼働率が二極化。

8. 市売問屋

国産材の構造材は、戸建ての減少と流通の変化で市場内での動きは少ない。造作材はスギの粹材が少量ながら売れている。外材の構造材は市場内での動きは少ない。造作材は米ヒバ、スプルースの良材が好調。都内の材木店の仕事量が少ないためか市日は低調だが、暖かくなり入荷量は増えてきており、GW後の仕事が増えるかどうか期待している。国産材の値上がりの雰囲気は感じられない。

9. 小売

国産材の構造材はスギ KD 柱・小割・板、ヒノキ KD 柱・土台いずれも保合。外材はロシアアカマツタルキ保合、米ツガ角・平割とも強保合、SPF 保合、WW 間柱保合。造作材はスプルース・ピーラー平割保合、タモ平割保合。集成材は WW、RW の柱・梁保合。合板は国産針葉樹、輸入品とも保合。プレカット工場は見積・加工とも順調。大工、工務店の新築工事見積は多いが決定率が低い。リフォーム需要は大分改善されてきた。

【参考資料】需給価格動向 PDF ファイル

5月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

| | | 入荷量 | 出荷量 | 在庫量 |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 米材 | 丸太 | → | → | → |
| | 製材品 | → | → | → |
| 北洋材 | 丸太 | → | → | → |
| 南洋材 | 丸太 | → | → | → |
| | 製材品 | → | → | → |

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記の様に示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

| 国内製造量 | 輸入量 | | |
|-------|-----|--------|-------|
| | 計 | インドネシア | マレーシア |
| ↘ | ↘ | ↘ | ↘ |

3. 価格動向

| 樹材種 | 形状 | 取引条件 | 樹種・寸法等 | 動向 |
|-----|----------------------------------|-----------------------------|--|----|
| 国産材 | 丸太 | 卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し) | スギ柱材 (3m) 2等 | → |
| | | | スギ中丸太 (3.65m) 2等 | → |
| | | | ヒノキ柱材 (3m) 2等 | → |
| | | | ヒノキ中丸太 (4m) 2等 | → |
| | 製材品 (関東近県産 板は東北産) | 首都圏・市売り 価格 | スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等 | → |
| | | | スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等 | → |
| | | | スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等 | → |
| | | | スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等 | → |
| | | | スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等 | → |
| | | スギタルキ3.0×4.0×4m | → | |
| | | ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等 | → | |
| | | ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等 | → | |
| 米材 | 丸太 | 産地価格 | 米マツ ISタイプ | ↗ |
| | | 国内卸売価格 (京浜・オントラ) | 米マツ ISタイプ コースト | ↗ |
| | 製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き) | 東京・問屋店頭 渡し価格 | 米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m | → |
| | | | 米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8" 13' | → |
| | | | 米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16" 13' | → |
| | | 米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m | → | |
| 南洋材 | 丸太 | 産地価格 | メランティレギュラー | → |
| | | 東京・水面筏 渡し価格 | メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用 メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用 | → |
| | 製材品 | 産地価格 | ホワイトセラヤ 平割 (サバ州産) | → |
| | | 東京・問屋店頭 渡し価格 | 同上2.4cm×込み×4m 定尺1等 | → |
| 北洋材 | 製材品 | 国内卸売価格 (京浜・オントラ) | アカマツ (KD) 30×40上級 | ↗ |
| | | | アカマツ (KD) 16×40上級 | ↗ |
| 欧州材 | 製材品 (現地挽き) | 東京・問屋店頭 渡し価格 | ホワイトウツ' 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC | → |
| | | | ホワイトウツ' ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺 | ↑ |
| 集成材 | 国産 | 東京・問屋店頭 渡し価格 | ホワイトウツ' 無化粧 JAS 5プライ | ↗ |
| | | | スギ 無化粧 JAS 5プライ | → |
| | 欧州産 | 〃 | 10.5×10.5×2.98m | ↗ |
| 合板 | 国産 | 東京・問屋店頭 渡し価格 | タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6 | → |
| | | | タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6 | → |
| | | | 型枠 12.0mm厚 3×6 | ↘ |
| | | | 針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆ | → |